

総合グローバル学部

総合グローバル学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー ▶

総合グローバル学科 ▶

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. メジャー領域、マイナー（サブメジャー）領域について
- 📄 4. 学位記等へ専攻分野の記載について
- 📄 5. 履修上の注意
- 📄 6. 科目の分野について
- 📄 7. 開講科目担当表

総合グローバル学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー

学士（国際関係論）

〔教育研究上の目的〕

国際関係論分野と地域研究分野の学位プログラムに設置された科目群を体系的に履修することで、1) グローバリティの理解、2) ローカリティの理解、3) 複言語（英語、地域言語）の運用能力、4) 倫理観に裏付けられた交渉能力を習得させる。

〔人材養成の目的〕

グローバル化の正負の側面に対処して、世界の人々が共に歩む共生社会の構築に貢献しようとする国際的公共知識人を養成すること。

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、グローバル化の進行する現代にあって、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向け、国際的公共知識人たることを目指す学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学士（国際関係論）の学位を授与します。

1. 安全保障、紛争、貧困、開発、移民、難民、地球環境などに関心を持ち、それらがなぜグローバルに解決を要する問題であるか説明する能力
2. グローバル・スタディーズを支える国際関係論と地域研究の考え方や理論の全体像を理解し、双方の視点を組み合わせて考える能力
3. グローバル化の正負の側面について、具体的な事例に即し、基礎的な理論と実証的な方法を用いて分析を行い、問題解決の方法を構想する能力
4. 国家間の安全保障や外交交渉、地域紛争、民族問題、平和構築、民主化、人権、ナショナリズムなどに関わる問題、現象を扱う国際政治論領域、グローバル化の担い手としての市民社会および経済を扱い、社会学、経済学、国際協力学、国際教育学等からアプローチする市民社会・国際協力論領域のいずれかを専門とし、アジア研究と中東・アフリカ研究（ないしその他の地域の研究）のうち1領域を選択し、これら2領域を組み合わせた主題を設定し、探求する能力
5. 世界の諸地域に生活する多様な他者対話し、共存する社会の形成に向けて、協力して問題解決に当たる能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. グローバル・スタディーズと、これを支える国際関係論および地域研究の基礎について講義を通じて学び、基幹となる理論と方法を修得させると共に、研究の基礎的な技能と姿勢を身につけさせる。【100番台科目】
2. 国際政治や経済の動態を把握し、国際協力や市民社会のメカニズムについて講義を通じて学び、専門の選択に備える。【200番台科目】
3. アジア、中東、アフリカ等について、歴史、文化、政治、経済他の諸側面から講義を通じて学び、専門の選択に備える。【200番台科目】
4. 国際政治論、市民社会・国際協力論から1領域、アジア研究、中東・アフリカ研究等から1領域を専門とし、講義等を通じてグローバルな問題の解決策を構想し、実践する力を養う。【300、400番台講義科目】
5. グローバル化の諸問題について、個別の課題を主体的に設定し、その研究成果を論文等の明確な形にして示す。【200番台自主研究、400番台演習、400番台卒業論文・研究等】
6. 少人数の演習を通して、議論によって相互の理解を深め、各自の課題研究を支えあう姿勢を身につけさせる。【100番台基礎演習、400番台演習】

7. 英語で講義される科目の受講などを通じて、国際共通語である英語の力を高めると共に、英語以外の外国語修得を心がけて複言語能力を獲得させる。【200 番台以降の講義科目】

学士（地域研究）

〔教育研究上の目的〕

地域研究分野と国際関係論分野の学位プログラムに設置された科目群を体系的に履修することで、1) グローバリティの理解、2) ローカリティの理解、3) 複言語（英語、地域言語）の運用能力、4) 倫理観に裏付けられた交渉能力を習得させる。

〔人材養成の目的〕

グローバル化の正負の側面に対処して、世界の人々が共に歩む共生社会の構築に貢献しようとする国際的公共知識人を養成すること。

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、グローバル化の進行する現代にあって、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向け、国際的公共知識人たることを目指す学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学士（地域研究）の学位を授与します。

1. 安全保障、紛争、貧困、開発、移民、難民、地球環境などに関心を持ち、それらがなぜグローバルに解決を要する問題であるか説明する能力
2. グローバル・スタディーズを支える地域研究と国際関係論の考え方や理論の全体像を理解し、双方の視点を組み合わせて考える能力
3. グローバル化の正負の側面について、具体的な事例に即し、基礎的な理論と実証的な方法を用いて分析を行い、問題解決の方法を構想する能力
4. 考古学、歴史学、人類学、政治学、社会学等の学問分野より、地域社会や今を生きる人々を扱い、グローバル化が加速する国際社会の中の特定地域について学び、アジア研究領域および中東・アフリカ研究領域のいずれかを専門とし、国際政治論と市民社会・国際協力論のうち1領域を選択し、これら2領域を組み合わせた主題を設定し、探求する能力
5. 世界の諸地域に生活する多様な他者と対話し、共存する社会の形成に向けて、協力して問題解決に当たる能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. グローバル・スタディーズと、これを支える地域研究および国際関係論の基礎について講義を通じて学び、基幹となる理論と方法を修得させると共に、研究の基礎的な技能と姿勢を身につけさせる。【100 番台科目】
2. アジア、中東、アフリカ等について、歴史、文化、政治、経済他の諸側面から講義を通じて学び、専門の選択に備える。【200 番台科目】
3. 国際政治や経済の動態を把握し、国際協力や市民社会のメカニズムについて講義を通じて学び、専門の選択に備える。【200 番台科目】
4. アジア研究、中東・アフリカ研究から1領域、国際政治論、市民社会・国際協力論から1領域を専門とし、講義等を通じてグローバルな問題の解決策を構想し、実践する力を養う。【300、400 番台講義科目】
5. グローバル化の諸問題について、個別の課題を主体的に設定し、その研究成果を論文等の明確な形にして示す。【200 番台自主研究、400 番台演習、400 番台卒業論文・研究等】
6. 少人数の演習を通して、議論によって相互の理解を深め、各自の課題研究を支えあう姿勢を身につけさせる。【100 番台基礎演習、400 番台演習】
7. 英語で講義される科目の受講などを通じて、国際共通語である英語の力を高めると共に、英語以外の外国語修得を心がけて複言語能力を獲得させる。【200 番台以降の講義科目】

総合グローバル学科

総合グローバル学科

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. メジャー領域、マイナー（サブメジャー）領域について
- 📄 4. 学位記等へ専攻分野の記載について
- 📄 5. 履修上の注意
- 📄 6. 科目の分野について
- 📄 7. 開講科目担当表

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降

全学共通科目			合計	
必修	8単位	[キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	6単位	[キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]		
選択	12単位			
合計	26単位			

語学科目

必修	4単位
合計	4単位

学科科目

必修	12単位
選択必修	56単位 [語学科目4単位を含む]
選択	26単位
合計	94単位

21年次生

全学共通科目			合計	
必修	2単位	[ウェルネスと身体2単位]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]		
選択	20単位	[高学年向け教養科目2単位を含む]		
合計	26単位			

語学科目

必修	4単位
合計	4単位

学科科目

必修	12単位
選択必修	56単位 [語学科目4単位を含む]
選択	26単位
合計	94単位

19・20年次生

全学共通科目

必修	2単位	[ウェルネスと身体2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	[高学年向け教養科目2単位を含む]
合計	26単位	

合計

合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
----------------------	-------

語学科目

必修	4単位
合計	4単位

学科科目

必修	12単位
選択必修	52単位
選択	30単位
合計	94単位

18年次生以前

全学共通科目

必修	2単位	[ウェルネスと身体2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	

合計

合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
----------------------	-------

合計	26単位	
----	------	--

語学科目

必修	4単位
合計	4単位

学科科目

必修	8単位
選択必修	52単位から60単位
選択	26単位から34単位
合計	94単位

2. 標準配当表

[総合グローバル学科] 標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリベラルアーツ	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
課題・視座・立場性を考える		2						
選択必修 (6単位)			キリスト教人間学	2				
選択 (12単位)					高学年向け科目		4	
			※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に参入される					

注1：学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[学部科目編]—語学科目—語学科目履修上の注意—4. 学科別履修指定言語(選択)を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2						
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2						

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	選択必修 (4単位)	英語以外の指定された同一言語(注2)						
	必修 (12単位)	100シリーズ グローバル・スタディーズ入門	2				卒業論文・卒業研究	4
		国際関係論入門	2					
		地域研究入門	2					
		グローバル・スタディーズ基礎演習	2					
選択必修 (52単位)		200シリーズ グローバル研究共通科目群	6					
		国際関係論共通科目群	4					
		地域研究共通科目群	4					
		300シリーズ、400シリーズの講義科目及び「演習」(4年次配当、注3) から34単位(メジャー領域より22単位、マイナー領域より12単位)						38
		演習(注3)					4	
選択 (26単位)	①本学科開講科目、②外国語学部、国際教養学部、言語教育研究センター開講科目および教職・学芸員課程開講科目(実習を除く)、③上記②以外の他学部・他学科の学科科目は8単位まで卒業に必要な単位に充当できる。							26

注2：指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[学部科目編]—語学科目—語学科目履修上の注意—3. 学科別履修指定言語(必修・選択必修)を参照のこと

注3：

①「演習」4単位は選択必修科目。これを超えて単位取得した場合には、4単位を上限としてメジャー領域から取得するべき22単位に算入される。

8単位を超えて「演習」を履修した場合には学科選択科目に算入される。

②4単位を超えて「演習」を履修する場合は原則として、選択必修として履修した「演習」と同一教員のもの履修すること。

[総合グローバル学科] 標準配当表

21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 語学科目は8単位まで卒業に必要な単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

注1: 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[学部科目編]—語学科目—語学科目履修上の注意—4. 学科別履修指定言語(選択)を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2						

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	選択必修 語学科目 (4単位)	英語以外の指定された同一言語(注2)						
	必修 (12単位)	100シリーズ グローバル・スタディーズ入門 国際関係論入門 地域研究入門 グローバル・スタディーズ基礎演習	2 2 2 2				卒業論文・卒業研究	4
	選択必修 (52単位)	200シリーズ グローバル研究共通科目群 国際関係論共通科目群 地域研究共通科目群		6 4 4			300シリーズ、400シリーズの講義科目及び「演習」(4年次配当、注3) から34単位(メジャー領域より22単位、マイナー領域より12単位)	38
	選択 (26単位)	①本学科開講科目、②外国語学部、国際教養学部、言語教育研究センター開講科目および教職・学芸員課程開講科目(実習を除く)、③上記②以外の他学部・他学科の学科科目は8単位まで卒業に必要な単位に充当できる。						26

注2: 指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[学部科目編]—語学科目—語学科目履修上の注意—3. 学科別履修指定言語(必修・選択必修)を参照のこと

注3:

- ①「演習」4単位は選択必修科目。これを超えて単位取得した場合には、4単位を上限としてメジャー領域から取得するべき22単位に算入される。8単位を超えて「演習」を履修した場合には学科選択科目に算入される。
- ②4単位を超えて「演習」を履修する場合は原則として、選択必修として履修した「演習」と同一教員のもを履修すること。

[総合グローバル学科] 標準配当表

19・20年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 語学科目は8単位まで卒業に必要な単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

注1：学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[学部科目編]—語学科目—語学科目履修上の注意—4. 学科別履修指定言語(選択)を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (12単位)	100シリーズ グローバル・スタディーズ入門 国際関係論入門 地域研究入門 グローバル・スタディーズ基礎演習	2 2 2 2				卒業論文・卒業研究	4
	選択必修 (52単位)	200シリーズ グローバル研究共通科目群 国際関係論共通科目群 地域研究共通科目群		6 4 4				
	選択 (30単位)	①本学科開講科目、②外国語学部、国際教養学部、言語教育研究センター開講科目および教職・学芸員課程開講科目(実習を除く)、③上記②以外の他学部・他学科の学科科目は8単位まで卒業に必要な単位に充当できる。						30

注2：

- ①「演習」4単位は選択必修科目。これを超えて単位取得した場合には、4単位を上限としてメジャー領域から取得するべき22単位に算入される。
8単位を超えて「演習」を履修した場合には、学科選択科目に算入される。
②4単位を超えて「演習」を履修する場合は原則として、選択必修として履修した「演習」と同一教員のもを履修すること。

[総合グローバル学科] 標準配当表

18年次生以前

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ (2014~2017年次生のみ) 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる。 ※ 語学科目は8単位まで卒業に必要な単位に充当できる(注1)						

注1: 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[学部科目編]-語学科目-語学科目履修上の注意-4. 学科別履修指定言語(選択)を参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (8単位)	100シリーズ グローバル・スタディーズ入門	2					
		国際関係論入門	2					
	選択必修科目 (52~60単位)	200シリーズ グローバル・スタディーズ基礎演習	2					
		グローバル研究共通科目群 国際関係論共通科目群 地域研究共通科目群 メジャー、マイナーを選択の場合		6 4 4				
選択科目 (26~34単位)	300シリーズ、400シリーズの講義科目から28単位 (メジャー領域より18単位、マイナー領域より10単位) 演習8単位							38 又は 42 (注1)
	メジャー、サブメジャーを選択の場合 300シリーズ、400シリーズの講義科目から32単位 (メジャー領域より18単位、サブメジャー領域より14単位) 演習8単位							42 又は 46 (注2)
①本学科開講科目、②外国語学部、国際教養学部、言語教育研究センター開講科目および教職・学芸員課程開講科目(実習を除く)、③上記②以外の他学部・他学科の学科科目は8単位まで卒業に必要な単位に充当できる。								26 又は 34 (注3)

注1: 卒業論文・卒業研究を履修した者は42単位、専門論文・専門研究を履修した者は38単位となる。
注2: 卒業論文・卒業研究を履修した者は46単位、専門論文・専門研究を履修した者は42単位となる。

注3: 選択科目における必要単位数は以下の通りである。
メジャー、マイナーを選択し、卒業論文・卒業研究を履修する者 30単位
メジャー、マイナーを選択し、専門論文・専門研究を履修する者 34単位
メジャー、サブメジャーを選択し、卒業論文・卒業研究を履修する者 26単位
メジャー、サブメジャーを選択し、専門論文・専門研究を履修する者 30単位

3. メジャー領域、マイナー（サブメジャー）領域について

19年次生以降

専攻分野には以下のとおり国際関係論系の2領域と地域研究系の2領域がある。学生は下記の領域のうち、いずれかを「メジャー領域」として選び、もう一つの系から「マイナー領域」を選択する。

国際関係論系：「国際政治論」領域 / 「市民社会・国際協力論」領域

地域研究系：「アジア研究」領域 / 「中東・アフリカ研究」領域

組み合わせ例)

- ① メジャー → 「国際政治論」領域（国際関係論系）
- マイナー → 「中東・アフリカ研究」領域（地域研究系）

なお、マイナーとして地域研究系の領域を選択する場合は、アジア研究、中東・アフリカ研究以外に、外国語学部の北米研究コース、ヨーロッパ研究コース、ラテンアメリカ研究コース、ロシア・ユーラシア研究コースのいずれかを充てることもできる。

18年次生以前

専攻分野には以下のとおり国際関係論系の2領域と地域研究系の2領域がある。学生は下記の領域のうち、いずれかを「メジャー領域」として選び、もう一つの系から「サブメジャー領域」または「マイナー領域」を選択する。

国際関係論系：「国際政治論」領域 / 「市民社会・国際協力論」領域

地域研究系：「アジア研究」領域 / 「中東・アフリカ研究」領域

※組み合わせ例)

- ① メジャー → 「国際政治論」領域（国際関係論系）
- サブメジャーまたはマイナー → 「中東・アフリカ研究」領域（地域研究系）

なお、サブメジャー、マイナーとして地域研究系の領域を選択する場合は、アジア研究、中東・アフリカ研究以外に、外国語学部の北米研究コース、ヨーロッパ研究コース、ラテンアメリカ研究コース、ロシア・ユーラシア研究コースのいずれかを充てることもできる。

4. 学位記等へ専攻分野の記載について

19年次生以降

1. 選択したメジャー領域により「学士（国際関係論）」または「学士（地域研究）」の学位を授与する。
2. 専攻分野の名称は学位記、卒業証明書および成績証明書に記載される。
3. 選択したメジャー領域およびマイナー領域については成績証明書に記載される。

18年次生以前

1. 選択したメジャー領域により「学士（国際関係論）」または「学士（地域研究）」の学位を授与する。
2. 専攻分野の名称は学位記、卒業証明書および成績証明書に記載される。
3. 選択したメジャー領域およびサブメジャー（マイナー）領域については成績証明書に記載される。

5. 履修上の注意

5. 履修上の注意

 5. 履修上の注意【19年次生以降】

 5. 履修上の注意【18年次生以前】

5. 履修上の注意【19年次生以降】

①語学科目について

(1)英語の履修について

語学科目の英語（必修）については、履修要覧[学部科目編]—語学科目—英語を参照すること。英語の高い運用能力を求める本学科においては、必修の4単位に加えて英語で行われる全学共通科目・学科科目などを、1年次から積極的に履修することを推奨する。

(2)英語以外の言語の履修について

メジャー、マイナーとして選択した領域にかかわらず、英語以外の言語を履修することを強く推奨する。21年次生以降は、下記③の説明に従うこと。

②学科科目について

(1)メジャー・マイナーの選択について

メジャーとして選んだ領域の科目群（学部専門科目および学部応用科目及び4単位を超えて履修する「演習」）から最低22単位、マイナーとして選んだ領域の科目群から最低12単位を取得する必要がある。

☑【申請・登録】

ア. 2年次11月に希望する演習（第8希望まで）とともにメジャー領域およびマイナー領域を、My Sophiaで申請する。

イ. メジャー領域は、演習申請後に決定した演習の領域と同一になる。演習の申請から決定までの流れについては(6)で説明する。

ウ. マイナー領域から選択した演習に決定した場合は申請したメジャー領域がマイナー領域となる。

エ. 決定したメジャー領域およびマイナー領域は、3年次春学期履修登録期間前までに、学事センターが確定登録し、これにより卒業要件も確定する。

☑【変更】

ア.メジャー領域変更希望の者は、相当な理由がある場合のみ学部教授会の決定を経たうえで、在学最終年度春学期履修登録期間中に一度だけ行うことができる。変更希望者は、所定の申請書を、演習指導教員の承認を受けて、在学最終年度春学期履修登録期間の約1ヶ月前（締切日：3月4日）に学部事務室に提出しなければならない。

イ.メジャー領域の変更前に修得した演習の単位は卒業に必要な単位（学科選択科目に充当）に算入できるが、学科選択必修科目としての演習4単位分には数えられない。したがって変更後のメジャー領域から演習4単位を修得すること。

ウ.マイナー領域の変更は、在学最終年度春学期履修登録期間中に一度だけ行うことができる。変更希望者は、所定の申請書を、演習指導教員の承認を受けて、在学最終年度春学期履修登録期間の約1ヶ月前（締切日：3月4日）に学部事務室に提出すること。

(2)外国語学部の4研究コースのうち、マイナー領域科目として指定する科目は履修要覧記載の各コースの「導入科目」及び「コア科目」である。ただし、以下に留意すること。

ア.外国語学部以外の学部開講科目（FGS開講科目など）は除く。

イ.履修要覧開講科目一覧およびシラバスで受講条件（外国語能力、履修年次等）を必ず確認すること。

(3)履修年次について：標準配当表および開講科目担当表に記載の履修年次を遵守すること。1年次生は300、1・2年次生は400シリーズの科目を履修できない。

(4)グローバル・スタディーズ基礎演習について：各自が所属するクラスはあらかじめ指定される。

(5)自主研究について：2年次から4年次のどの段階でも各学期2単位（クォーター科目の場合は各クォーター1単位）、通算では最大12単位履修できる。

📁 【登録】

ア.履修を希望する者は研究を実施する前学期中に想定する指導教員と面談し、研究計画について許可を得ること。

イ.所定の申請書に指導教員の押印を受け、実施学期履修登録期間内に学部事務室に提出すること。

ウ.各学期の履修登録期間中にLoyolaで履修登録を行うこと。

エ.自主研究のクォーター科目は原則として、留学する者と留学した者を対象とし、出発直前または帰国直後のクォーターに開講されるものを登録すること。

オ.自主研究のクォーター科目は2クォーター連続して履修できない。

(6)演習について：

ア. 原則として、3年次に4単位修得すること。留学、休学等により3年次のみに履修できない場合は3～4年次に履修すること。

イ. 4年次以降に「演習」を履修する場合は、原則として、3年次と同一教員の演習を履修すること。4年次以降の演習履修については、担当教員と相談すること。

ウ. 4単位を超えて「演習」単位を取得した場合、4単位を上限としてメジャー領域に取得するべき22単位に算入される。また、8単位を超えて「演習」を履修した場合には、学科選択科目に算入される。

エ. 演習単位は留学による単位換算で取得できない。

オ. 教員の特別研修及び退職などにより同一教員の演習を履修できない場合がある。この場合、メジャー領域の他の教員の演習を履修することになる。申請方法等については、別途案内するので確認すること。

カ. 演習には定員が設けられ、選考が行われる場合があるので、2年次の秋学期に開催する説明会に必ず出席して説明を受けること。

キ. 同一学期に複数の演習を履修することはできない（留学者は不足単位分を帰国後に履修し、F取得者は次年度以降に演習を履修すること。）

📁 【Loyolaでの申請・登録】

- ・ a. 申請期間等は下記のとおりである。

期間・時間：2025年11月3日（月）0：00～11月6日（木）23：59

- ・ b. 希望する演習を希望するメジャー領域から5つおよびマイナー領域から3つ選択し、希望順位を付け、申請すること。順位は2領域を跨っても良い。ただし、メジャー領域が「国際政治論」または「市民社会・国際協力論」で、マイナー領域が外国語学部4研究コースを選択した者は、「アジア研究」または「中東・アフリカ研究」のいずれかを「第2マイナー領域」（ゼミ申請時に限って使用する語句）として選択し、その領域から3つの演習を選択すること。
- ・ c. 自身の研究課題（40字以内）および、その詳細説明（400字～600字）を入力すること。
- ・ d. 選考があった場合には、研究課題、科目履修状況、成績などの総合的判断にもとづいて行われる。
- ・ e. 決定した演習を、3年次春の履修登録期間中に忘れずに登録すること。

ク.演習の履修中止（W）を行う場合は事前に学科長の承認を得ること。

ケ.外国語学部より各演習3人を上限に受け入れる。外国語学部以外の他学部生の履修は原則として認められない。

📄【変更】

ア. 演習の変更はメジャー領域の変更を認められた者、および相当の理由のある場合のみ最終在学年度の春学期履修登録期間前に一度だけ認められる。なお、相当の理由のある場合の演習の変更は、同一メジャー領域内のみ認められる。

イ. 変更希望者は、所定の申請書に3年次演習の指導教員および4年次に予定する演習の指導教員の承認を受けて、最終在学年度の春学期履修登録期間約1ヶ月前（締切日：3月4日）に学部事務室に提出すること。

(7)卒業論文・卒業研究について：

原則として、4年次春学期に「卒論・卒研1」（2単位）を、秋学期に「卒論・卒研2」（2単位）を他の学科科目と同様にLoyolaにて履修登録し、論文または成果物を作成しなければならない。

ア. 卒論の執筆は日本語または英語によるものとし、日本語20,000字（英語6,000 words）程度の論文とする。

イ. 卒研は上記アと同等の知的活動を必要とする論文形式以外の成果物とする。

ウ. 指導教員は演習担当教員と同一となる。「卒論・卒研1」、「卒論・卒研2」の指導の詳細については、指導教員の指示に従うこと。

エ. 「卒論・卒研1」の評価はP（合格）、X（不合格）を使用する。

オ. 「卒論・卒研1/専論・専研1」を履修する学期に「題目届」（日本語200～400字、英語60～120 words）および「研究計画書」（日本語2,000字以上-英語600 words以上）を指導教員に提出すること。

・ 卒論等を2025年12月に提出する者：

- ・ 題目届提出締切日2025年5月30日（金）
- ・ 計画書提出締切日2025年7月18日（金）

・ 卒論等を2026年7月に提出する者：

- ・ 題目届提出締切日2025年11月28日（金）
- ・ 計画書提出締切日2026年1月30日（金）

カ. 「卒論・卒研1」の単位取得ができない場合は「卒論・卒研2」の履修はできない。ただし、留学等特段の理由がある場合は1学期に「卒論・卒研1」「卒論・卒研2」の同時履修を認める場合がある（事前に学科長の承認が必要。締切日：8月21日）。

認められるケースは原則として4年間の修業年限内で卒業予定の者のうち、3年次秋学期～4年次春学期（または4年次春学期）に「留学（休学留学を除く）」し、帰国後次学期の4年次秋学期に同時履修する場合のみである（留学直後に休学をした場合には同時履修の対象とならないので留意すること。）

なお、1学期に「卒論・卒研1、2」を同時履修する者は「題目届」および「研究計画書」の提出期限を各指導教員と相談すること。

キ. 「卒論・卒研1」の成績が「X」（不合格）の者は次学期に「卒論・卒研1」を再履修すること。

ク. 早期卒業をする場合は「卒論・卒研1」と「卒論・卒研2」を3年次春学期および秋学期、または3年次秋学期および4年次春学期に履修すること。

ケ. ジュネーブ国際・開発研究大学院（GI）と本学が実施する3+2プログラムの参加要件を満たし、出願見込みの場合は、「卒論・卒研1」を3年次秋学期、「卒論・卒研2」を4年次春学期に履修すること。

なお、同プログラムに参加できなかった場合は、3年次秋学期に「卒論・卒研1」を履修し、4年次秋学期に「卒論・卒研2」を履修すること。

コ. 卒論等の提出（「卒論・卒研2」の履修学期）の条件：

- ・ a. 卒論等の提出は休学期間を除き在学8学期目以降（早期卒業者は6学期目または7学期目）とする。
- ・ b. 卒論等の提出は提出学期までに「演習」4単位取得済み、または取得見込みであること。

サ.2025年7月の卒論等の提出期間、対象者等は下記のとおりである。

- 対象者：
 - 在学継続者のうち、「コ」の条件を満たした者（卒業時期は問わない）
 - 2025年9月早期卒業予定者のうち、「コ」の条件を満たした者
- 期間：2025年7月2日（水）～9日（水）（最終締切日時：7月9日（水）13：00）
- 提出先：Moodleにログインし、コース「FGS卒論・専論提出」（コース作成教員・学科長：山口昭彦）内の指導教員名のトピックに提出する。
- 体裁：A4縦横書き、PDFファイル形式で提出すること。

❗ 卒業論文等の提出が遅れた場合、単位取得不可となる。締切日時を厳守のこと。

❗ 提出後、各締切日までに以下を行うこと。
【提出者全員】卒論等の題目をMy Sophiaに入力。入力締切日：2025年7月9日（水）

シ.2026年3月卒業予定者の卒論等の提出期間等は下記のとおりである。

- 提出日：2025年12月11日（木）～18日（木）（最終締切日：12月18日（木）13：00）
- 提出先：Moodleにログインし、コース「FGS卒論・専論提出」（コース作成教員・学科長：山口昭彦）内の指導教員名のトピックに提出する。
- 体裁：A4縦横書き、PDFファイル形式で提出すること。

❗ 卒業論文等の提出が遅れた場合、単位取得不可となる。締切日時を厳守のこと。

❗ 提出後、各締切日までに以下を行うこと。
【提出者全員】卒論等の題目をMy Sophiaに入力。入力締切日：2025年12月18日（木）

③語学科目（学科科目選択必修）について（※21年次生以降のみ対象）

学科科目の選択必修科目として、英語以外の同一言語を4単位修得しなければならない。指定言語と履修方法については、履修要覧[学部科目編]—語学科目—初習言語（全般）を確認すること。自身が選択した言語以外を履修した場合は、全学選択科目あるいは学科選択科目に算入できる。

④他学部等の開講科目について

外国語学部、国際教養学部、言語教育研究センター開講科目および教職・学芸員課程開講科目（実習を除く）については卒業要件「学科科目（選択）」に算入できる（21年次生以降：26単位まで。19・20年次生：30単位まで）。その他他学部・他学科の開講科目については、8単位を上限として、「学科科目（選択）」に算入できる。

⑤学期年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

❗ （注）春・秋各学期の履修単位数が上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることが出来ない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計 (単位)
26	26	48	26	26	48	26	26	48	26	26	48	192

❗ 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

❗ 履修登録をする前学期までに教職課程の履修申し込み手続きをした3年次以上の者で、教員免許状取得に必要な科目の履修により、登録単位数が学期別および年間の最高履修限度を超えてしまう場合は、事前に学科長に相談し、履修登録前に許可を得ておくこと。なお、必要な書類等については、課程センター（2号館2階）にて確認すること。

⑥他大学で修得した授業科目の単位認定・換算について

入学前既修得単位認定および留学による単位換算については、履修要覧〔ガイド・資料編〕—II.教務—14.単位換算・単位認定を参照すること。

⑦他学部生履修不可等の科目について

1. 100シリーズの科目および、200シリーズのうち国際関係論共通科目群は他学部生履修不可の科目である。
2. 200シリーズのうちのグローバル研究共通科目群および地域研究共通科目群は、総合グローバル学部の学生を優先する抽選科目である。
3. 400シリーズの演習については、外国語学部生に限り各演習1学年3名を上限として受け入れる。外国語学部以外の他学部生は原則として履修不可である。

⑧SPSF（Sophia Program for Sustainable Futures）コースの必修科目について

SPSFコースの必修科目3科目（Introduction to Global Studies、Introduction to Area Studies、Introduction to International Relations）はSPSFコース全学科の学生用として、また、Academic Skills for Global Studies、Seminar (International Relations) 1・2、Seminar (Area Studies) 1・2、Independent Studies 1～6・2a～6bおよびBachelor's Thesis (International Relations) 1・2、Bachelor's Thesis (Area Studies) 1・2は、FGS・SPSFコースの学生用として開講されている。対象学生以外のFGS生は、FGS・日本語トラックで開講されている相当科目を履修すること。

⑨My Sophia掲示板について

以下の情報はMy Sophia学科・専攻掲示板に掲載されているので、必要時に各自ダウンロードし、使用すること。

1. 各種申請書（指導教員、学科事務室へ提出する履修関連の申請用紙）
2. 「自主研究」の手引き
3. 卒業論文/専門論文作成ガイドライン
4. FGSハンドブック

⑩総合グローバル学部早期卒業制度について

1. 早期卒業とは在学期間が3年以上あり、所定の手続きを経て3年次終了時または4年次春学期終了時をもって卒業することをいい、前者を3年次3月卒業、後者を4年次9月卒業という。
2. 早期卒業をするためには次の要件をすべて満たしていなければならない。
 - 2.1. 本人が早期卒業を希望していること。
 - 2.2. 卒業時に、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること
 - 2.3. 修得済み総単位数に対する成績評価の総合平均点（以下「GPA」という）が3.7以上であること。
3. 早期卒業を希望する場合、早期卒業希望登録を行わなければならない。
 - 3.1. 早期卒業希望登録を行うためには2年次終了時において、卒業に必要な所定の授業科目の修得単位数に算入することができる単位として80単位以上（本学で修得した単位を62単位以上含む）を修得し、かつ、修得済み総単位数に対するGPAが3.7以上でなければならない。
 - 3.2. 早期卒業の登録を行った者は、卒業時までに演習科目4単位を必ず履修しなければならない。

- 3.3. 早期卒業を希望する者は、3年次春の履修登録期間に早期卒業登録申請書を学部事務室に提出しなければならない。申請書には自らが所属することとなる演習科目の指導教員の承認印をもらうこと。
 - 3.4. 早期卒業の登録を行おうとする者は、あらかじめ学科長または演習の指導教員に相談し、適切な指導を受けなければならない。また、随時、学業の進捗状況を指導教員に報告し、指導を受けなければならない。
 - 3.5. 早期卒業の登録を行った者は原則として休学することはできない。
4. 早期卒業希望時期の変更および早期卒業希望登録そのものの取り消しについては、下記の手続きが必要となる。
 - 4.1. 早期卒業の登録を行った者のうち、3年次3月卒業を希望していたときに限り、早期卒業の時期を変更することができる。この場合は、早期卒業学期変更届出書に演習指導教員の承認印を受けて、3年次秋学期の履修登録期間に学部事務室まで届け出なければならない。
 - 4.2. 早期卒業の登録を行った者が、早期卒業の登録を取り消す場合は、「早期卒業取消届出書」に演習指導教員の承認印を受けて、別途定める期日までに学部事務室まで届け出なければならない。
 - 4.3. 早期卒業を取り消した場合、4年次に履修しなければならない科目で3年次に履修済みの科目は卒業に必要な単位に算入される。

提出書類	提出期限
早期卒業登録申請書	3年次春学期履修登録期間
早期卒業学期変更届出書	3年次秋学期履修登録期間
3年次3月早期卒業取消届出書	3年次秋学期履修登録期間
4年次9月早期卒業取消届出書	4年次春学期履修登録期間

5. 履修上の注意【18年次生以前】

①語学科目について

(1)英語の履修について

語学科目の英語（必修）については、履修要覧[学部科目編]—語学科目—英語を参照すること。英語の高い運用能力を求める本学科においては、必修の4単位に加えて英語で行われる全学共通科目・学科科目などを、1年次から積極的に履修することを推奨する。

(2)英語以外の言語の履修について

メジャー、サブメジャー・マイナーとして選択した領域にかかわらず、英語以外の言語を履修することを強く推奨する。

②学科科目について

(1)メジャー、サブメジャー・マイナーの選択について

メジャーとして選んだ領域の科目群（学部専門科目および学部応用科目）から最低18単位、サブメジャーまたはマイナーとして選んだ領域の科目群からサブメジャーの場合は最低14単位、マイナーの場合は最低10単位を取得する必要がある。メジャー、サブメジャー・マイナーの申請時期は、2年次の11月とする。

【申請・登録】

- ア.2年次11月に希望する演習（第8希望まで）とともにメジャー領域およびマイナー領域を、Loyolaで申請する。
- イ. 単位取得状況に応じて在学最終年度春学期履修登録期間前にマイナーからサブメジャーに変更することができる。ただし、卒業要件も変わることになるので注意すること。
- ウ. メジャー領域は、演習申請後に決定した演習の領域と同一になる。演習の申請から決定までの流れについては(6)で説明する。
- エ. マイナー領域から選択した演習に決定した場合は申請したメジャー領域がマイナー領域となる。
- オ. 決定したメジャー領域およびマイナー領域は、3年次春学期履修登録期間前までに、学事センターが確定登録し、これにより各学生の卒業要件も確定する。

【変更】

- ア.メジャー領域の変更は、相当な理由がある場合のみ学部教授会の決定を経たうえで、在学最終年度春学期履修登録期間中に一度だけ行うことができる。変更希望者は、所定の申請書を、3年次の演習指導教員および4年次に予定する演習指導教員の承認を受けて、在学最終年度春学期履修登録期間の約1ヶ月前（締切日：3月4日）に学部事務室に提出しなければならない。
- イ.メジャー領域の変更前に修得した演習の単位は卒業に必要な単位（学科選択科目に充当）に算入できるが、学科選択必修科目としての演習8単位分には数えられない。したがって変更後のメジャー領域から2学年度にわたって演習8単位を修得するか、または1学年度に変更後のメジャー領域から演習2科目を同時履修すること。
- ウ. マイナーからサブメジャーへの変更及びマイナー領域の変更は、在学最終年度春学期履修登録期間中に一度だけ行うことができる。変更希望者は、所定の申請書を、演習指導教員の承認を受けて、在学最終年度春学期履修登録期間の約1ヶ月前（締切日：3月4日）に学部事務室に提出すること。マイナーからサブメジャーに変更した場合、卒業要件も変わることになるので注意すること。

(2)外国語学部の4研究コースのうち、マイナー領域科目として指定する科目は履修要覧記載の各コースの「導入科目」及び「コア科目」である。ただし、以下に留意すること。

ア.外国語学部以外の学部開講科目（FGS開講科目など）は除く。

イ.履修要覧開講科目一覧およびシラバスで受講条件（外国語能力、履修年次等）を必ず確認すること。

(3)履修年次について：標準配当表および開講科目担当表に記載の履修年次を遵守すること。1年次生は300、400シリーズの科目を履修できない。

(4)グローバル・スタディーズ基礎演習について：各自が所属するクラスはあらかじめ指定される。

(5)自主研究について：2年次から4年次のどの段階でも各学期2単位（クォーター科目の場合は各クォーター1単位）、通算では最大12単位履修できる。

☑ 【登録】

ア.履修を希望する者は研究を実施する前学期中に想定する指導教員と面談し、研究計画について許可を得ること。

イ.所定の申請書に指導教員の押印を受け、実施学期履修登録期間内に学部事務室に提出すること。

ウ.各学期の履修登録期間中にLoyolaで履修登録を行うこと。

エ.自主研究のクォーター科目は原則として、留学する者と留学した者を対象とし、出発直前または帰国直後のクォーターに開講されるものを登録すること。

オ.自主研究のクォーター科目は2クォーター連続して履修できない。

☑ (6)演習について：

ア.原則として同一教員の演習を3年次より2年間続けて履修し、8単位取得しなければならない。

イ.留学による単位換算により4単位まで取得できる。

ウ.教員の特別研修及び退職などにより同一教員の演習を履修できない場合がある。この場合、メジャー領域に所属する他教員の演習を履修すること。

エ.演習には定員が設けられ、選考が行われる場合があるので、2年次の秋学期に開催される説明会に必ず出席して説明を受けること。

☑ 【Loyolaでの申請・登録】

- ・ a.申請期間等は下記のとおりである。
期間・時間：2025年11月3日（月）0：00～11月6日（木）23：59
- ・ b. 希望する演習を希望するメジャー領域から5つおよびマイナー領域から3つ選択し、希望順位を付け、申請すること。
順位は2領域を跨っても良い。ただし、メジャー領域が「国際政治論」または「市民社会・国際協力論」で、マイナー領域が外国語学部4研究コースを選択した者は、「アジア研究」または「中東・アフリカ研究」のいずれかを「第2マイナー領域」（ゼミ申請時に限って使用する語句）として選択し、その領域から3つの演習を選択すること。
- ・ c. 自身の研究課題（40字以内）および、その詳細説明（400字～600字）を入力すること。
- ・ d. 選考があった場合には、研究課題、科目履修状況、成績などの総合的判断にもとづいて行われる。
- ・ e. 決定した演習を、3年次春の履修登録期間中に忘れずに登録すること。

オ.演習の履修中止（W）を行う場合は事前に学科長の承認を得ること。

カ.外国語学部より各ゼミ3人を上限に受け入れる。外国語学部以外の他学部生の履修は原則として認められない。

☑ 【変更】

ア.演習の変更はメジャー領域の変更を認められた者、および相当の理由のある場合のみ最終在学年度の春学期履修登録期間前に一度だけ認められる。なお、相当の理由のある場合の演習の変更は、同一メジャー領域内のみ認められる。

イ.変更希望者は、所定の申請書に3年次演習の指導教員および4年次に予定する演習の指導教員の承認を受けて、最終在学年度の春学期履修登録期間約1ヶ月前（締切日：3月4日）に学部事務室に提出すること。

☒ 【特例措置】

ア.留学、早期卒業、メジャー領域の変更等特段の事情がある場合は2つの演習を同一学期に履修することを認める場合がある（事前に学科長の承認が必要）。留学および早期卒業の場合は「メジャー領域から2つ」または「メジャー領域から1つ、マイナー領域から1つ」の演習を履修するものとし、メジャー領域変更の場合は「変更後のメジャー領域から2つ」の演習を履修するものとする。ただし、履修中止は原則として認めない。なお、三つ以上の演習を同時履修することは不可とする。

イ.留学出発前に演習2科目を同時履修した者が留学を取り消した場合、3・4年次全学期にわたり演習を履修しなければならない。この時、8単位を超えて修得した場合の超過単位は学科選択科目に算入できる。

(7)卒業論文・卒業研究/専門論文・専門研究について：

総合グローバル学部生は卒業論文・卒業研究/専門論文・専門研究（以下、卒論・卒研/専論・専研という）のうち、いずれかを選択し、原則として4年次春学期に「卒論・卒研1/専論・専研1」を、秋学期に「卒論・卒研2/専論・専研2」を他の学科目と同様にLoyolaにて履修登録し、論文または成果物を作成しなければならない。

ア.卒論・専論の執筆は日本語または英語によるものとし、卒論は日本語36,000字（英語11,000 words）程度、専論は日本語12,000字（英語3,500 words）程度の論文とする。

イ.卒研・専研は上記アと同等の知的活動を必要とする論文形式以外の成果物とする。

ウ.指導教員は演習担当教員と同一となる。

エ.「卒論・卒研1/専論・専研1」の評価はP（合格）、X（不合格）を使用する。

オ.「卒論・卒研1/専論・専研1」を履修する学期に「題目届」（日本語200～400字、英語60～120 words）および「研究計画書」（日本語2,000字以上-英語600 words以上）を指導教員に提出すること。

- ・ 卒論等を2025年12月に提出する者：
 - ・ 題目届提出締切日2025年5月30日（金）
 - ・ 計画書提出締切日2025年7月18日（金）

- ・ 卒論等を2026年7月に提出する者：
 - ・ 題目届提出締切日2025年11月28日（金）
 - ・ 計画書提出締切日2026年1月30日（金）

カ.「卒論・卒研1、2/専論・専研1、2」の履修中止は「履修中止申請期間」の開始前までに所定の願書を学科長に提出し、認められた場合のみできる。

キ.「卒論・卒研1/専論・専研1」の単位取得ができない場合は「卒論・卒研2/専論・専研2」の履修はできない。ただし、留学等特段の理由がある場合は1学期に「卒論・卒研1/専論・専研1」「卒論・卒研2/専論・専研2」の同時履修を認める場合がある（事前に学科長の承認が必要）。認められるケースは原則として4年間の修業年限内で卒業予定の者のうち、3年次秋学期～4年次春学期（または4年次春学期）に「留学（休学留学を除く）」し、帰国後次学期の4年次秋学期に同時履修する場合のみである（留学直後に休学をした場合には同時履修の対象とならないので留意すること。）

なお、1学期に「卒論・卒研1、2」もしくは「専論・専研1、2」を同時履修する者は「題目届」および「研究計画書」の提出期限を各指導教員と相談すること。

ク.「卒論・卒研1」の成績が「P」（合格）の者は次学期に「専論・専研」に変更申請することができる。この場合、申請書を最終学年次の最終学期履修登録期間約1ヶ月前（締切日：8月21日）に学部事務室に提出しなければならない。

い。許可された場合「専論・専研1」及び「専論・専研2」を同時に履修登録する必要がある。なお、取得済みの卒論・卒研の単位は卒業に必要な単位とはならない。

ケ。「卒論・卒研1」の成績が「X」（不合格）の者は次学期に「卒論・卒研1」を再履修するか、または「専論・専研1」を履修し、その次の学期に「卒論・卒研2」または「専論・専研2」を履修すること。

コ.専論・専研から卒論・卒研への変更はできない。

サ.早期卒業をする場合は「卒論・卒研1/専論・専研1」と「卒論・卒研2/専論・専研2」を3年次春学期および秋学期、または3年次秋学期および4年次春学期に履修すること。

シ.卒論等の提出（「卒論・卒研2/専論・専研2」の履修学期）の条件：

- ・ a. 卒論等の提出は休学期間を除き在学8学期目以降（早期卒業者は6学期目または7学期目）とする。
- ・ b. 卒論等の提出は提出学期までに「演習」8単位取得済み、または取得見込みであること

ス.2025年7月の卒論等の提出期間、対象者等は下記のとおりである。

- ・ 対象者：
 - 在学継続者のうち、「シ」の条件を満たした者（卒業時期は問わない）
 - 2025年9月早期卒業予定者のうち、「シ」の条件を満たした者
- ・ 期間：2025年7月2日(水)～9日(水)（最終締切日時：7月9日(水) 13:00）
- ・ 提出先：Moodleにログインし、コース「FGS卒論・専論提出」（コース作成教員・学科長：山口昭彦）内の指導教員名のトピックに提出する。
- ・ 体裁：A4縦横書き、PDFファイル形式で提出すること。

❗ 卒業論文・専門論文等の提出が遅れた場合、単位取得不可となる。締切日時を厳守のこと。

セ.2026年3月卒業予定者の卒論等の提出期間等は下記のとおりである。

- ・ 期間：2025年12月11日(木)～18日(木)（最終締切日：12月18日(木) 13:00）
- ・ 提出先：Moodleにログインし、コース「FGS卒論・専論提出」（コース作成教員・学科長：山口昭彦）内の指導教員名のトピックに提出する。
- ・ 体裁：A4縦横書き、PDFファイル形式で提出すること。

❗ 卒業論文・専門論文等の提出が遅れた場合、単位取得不可となる。締切日時を厳守のこと。

提出後、各締切日までに以下を行うこと。

- ❗ 【提出者全員】卒論等の題目をMy Sophiaに入力。
 - (7月提出9月卒業者 締切日) 2025年7月9日(水)
 - (12月提出3月卒業者 締切日) 2025年12月18日(木)

③他学部等の開講科目について

外国語学部、国際教養学部、言語教育研究センター開講科目および教職・学芸員課程開講科目（実習を除く）については26単位から34単位の範囲内で卒業要件の「学科科目（選択）」に算入できる。その他の他学部・他学科の開講科目については、8単位を上限として、「学科科目（選択）」に算入できる。

④学期年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

- ❗ (注) 春・秋各学期の履修単位数が上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計 (単位)
26	26	48	26	26	48	26	26	48	26	26	48	192

❗ 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q

i 履修登録をする前学期までに教職課程の履修申し込み手続きをした3年次以上の者で、教員免許状取得に必要な科目の履修により、登録単位数が学期別および年間の最高履修限度を超えてしまう場合は、事前に学科長に相談し、履修登録前に許可を得ておくこと。なお、必要な書類等については、課程センター（2号館2階）にて確認すること。

⑤他大学で修得した授業科目の単位認定・換算について

入学前既修得単位認定および留学による単位換算については、履修要覧〔ガイド・資料編〕—II.教務—14-1.学部における単位換算・単位認定を参照すること。

⑥他学部生履修不可等の科目について

- 100シリーズの科目および、200シリーズのうち国際関係論共通科目群は他学部生履修不可の科目である。
- 200シリーズのうちのグローバル研究共通科目群および地域研究共通科目群は、総合グローバル学部の学生を優先する抽選科目である。
- 400シリーズの演習については、外国語学部生に限り各演習1学年3名を上限として受け入れる。外国語学部以外の他学部生は原則として履修不可である。

⑦SPSF（Sophia Program for Sustainable Futures）コースの必修科目について

SPSFコースの必修科目3科目（Introduction to Global Studies、Introduction to Area Studies、Introduction to International Relations）はSPSFコース全学科の学生用として、また、Academic Skills for Global Studies、Seminar（International Relations）1・2、Seminar（Area Studies）1・2、Independent Studies 1～6・2a～6bおよびBachelor's Thesis（International Relations）1・2、Bachelor's Thesis（Area Studies）1・2は、FGS・SPSFコースの学生用として開講されている。対象学生以外のFGS生は、FGS・日本語トラックで開講されている同類科目を履修すること。

⑧My Sophia掲示板について

以下の情報はMy Sophia学科・専攻掲示板に掲載されているので、必要時に各自ダウンロードし、使用すること。

- 各種申請書（指導教員、学科事務室へ提出する履修関連の申請用紙）
- 「自主研究」の手引き
- 卒業論文/専門論文作成ガイドライン
- FGSハンドブック

⑨総合グローバル学部早期卒業制度について

- 早期卒業とは在学期間が3年以上あり、所定の手続きを経て3年次終了時または4年次春学期終了時をもって卒業することを行い、前者を3年次3月卒業、後者を4年次9月卒業という。
- 早期卒業をするためには次の要件をすべて満たしていなければならない。
 - 2.1. 本人が早期卒業を希望していること。
 - 2.2. 卒業時に、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること
 - 2.3. 修得済み総単位数に対する成績評価の総合平均点（以下「GPA」という）が3.5以上であること。
- 早期卒業を希望する場合、早期卒業希望登録を行わなければならない。

- 3.1. 早期卒業希望登録を行うためには2年次終了時において、卒業に必要な所定の授業科目の修得単位数に算入することができる単位として80単位以上（本学で修得した単位を62単位以上含む）を修得し、かつ、修得済み総単位に対するGPAが3.2以上でなければならない。
 - 3.2. 早期卒業の登録を行った者は、卒業時まで演習科目8単位を必ず履修しなければならない。この場合、3年次3月卒業希望の者は3年次の春学期・秋学期にそれぞれ2つの演習科目を同時履修する。4年次9月卒業希望の者は原則として3年次春学期または4年次春学期に2つの演習科目を同時履修する。同時履修は「メジャー領域から2つ」または「メジャー領域から1つ、マイナー領域から1つ」の演習を履修するものとする。
 - 3.3. 早期卒業を希望する者は、3年次春の履修登録期間に早期卒業登録申請書を学部事務室に提出しなければならない。申請書には自らが所属することとなる2つの演習科目の指導教員の承認印をもらうこと。
 - 3.4. 早期卒業の登録を行おうとする者は、あらかじめ学科長または演習の指導教員に相談し、適切な指導を受けなければならない。また、随時、学業の進捗状況を指導教員に報告し、指導を受けなければならない。
 - 3.5. 早期卒業の登録を行った者は原則として休学することはできない。
4. 早期卒業希望時期の変更および早期卒業希望登録そのものの取り消しについては、下記のとおりとなる。
- 4.1. 早期卒業の登録を行った者のうち、3年次3月卒業を希望していたときに限り、早期卒業の時期を変更することができる。この場合は、早期卒業学期変更届出書に演習指導教員の承認印を受けて、3年次秋学期の履修登録期間に学部事務室まで届け出なければならない。
 - 4.2. 早期卒業の登録を行った者が、早期卒業の登録を取り消す場合は、「早期卒業取消届出書」に演習指導教員の承認印を受けて、別途定める期日までに学部事務室まで届け出なければならない。
 - 4.3. 早期卒業を取り消した場合、4年次に履修しなければならない科目で3年次に履修済みの科目は卒業に必要な単位に算入される。ただし、演習（400番台）科目は、4年次全学期にわたり履修しなければならない。この場合、8単位を超えて修得した単位は学科科目（選択）に算入される。
3年次3月または4年次9月卒業予定者が、早期卒業を取り消した場合、400番台ゼミは3年次に取得した6単位（例：春学期に2科目同時履修し4単位修得+秋学期2単位修得）に加えて、4年次春学期2単位、秋学期に2単位、合計10単位を修得しなければならない。

提出書類	提出期間
早期卒業登録申請書	3年次春学期履修登録期間
早期卒業学期変更届出書	3年次秋学期履修登録期間
3年次3月早期卒業取消届出書	3年次秋学期履修登録期間
4年次9月早期卒業取消届出書	4年次春学期履修登録期間

6. 科目の分野について

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧〔ガイド・資料編〕—II.教務—4.ナンバリングを参照すること。

総合グローバル学部の分野コード一覧

分野コード	分野名
AAF	地域研究（アフリカ）
AME	地域研究（中東）
ANT	文化人類学
ARS	地域研究
ASA	地域研究（アジア）
ECN	経済学
GRP	卒業論文
GST	グローバル・スタディーズ
ICP	国際協力論
IDR	自主研究
IRS	国際関係論

7. 開講科目担当表

開講科目担当表 [総合グローバル学科]

※ Loyolaの時間割・開講科目は、教授言語(日本語・英語)ごとに表示されるので注意すること。

学科科目[学部入門科目(必修科目)]100シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
学科科目 必修科目	BGS10100	GST100-21J00	グローバル・スタディーズ入門	2	春	コーディネータ 齊藤 孝祐	1		輪講
	BGS10200	IRS101-21J00	国際関係論入門	2	春	中内 政貴	1		
	BGS10300	ARS102-21J00	地域研究入門	2	春	コーディネータ 畠城 百華	1		輪講
	BGS10400	GST150-21J00	グローバル・スタディーズ基礎演習	2	秋	福武 慎太郎 稲葉 奈々子 岸川 毅 久志本 裕子 前嶋 和弘 畠城 百華 丸井 雅子 中内 政貴 齊藤 孝祐 櫻田 智恵 澤江 史子 下川 雅嗣 鈴木 一敏 高島 亮 田中 雅子 辻上 奈美江 都留 康子 渡辺 紫乃 WEISS Tobias 山口 昭彦	1		

(注) 学生各自のグローバル・スタディーズ基礎演習の所属クラスは予め指定される。

学科科目[学部基礎科目(選択必修科目)]200シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
学科科目 選択必修科目	[グローバル共通科目群]									
	BGS50100	GST200-21J00	グローバル化と政治学	2	春	岸川 毅	1-2		[190名]、注1	
	BGS61800	GST210-21J00	グローバル化と経済学	2	春	* 古川 雄一	1-2		[190名]、注1、 旧「グローバル化と経済学」	
	BGS50300	GST203-21J00	グローバル社会学	2	秋	* 山崎 哲	1-2		[190名]、注1	
	BGS50400	GST204-21J00	グローバル化の人類学	2	休講	赤根 雅幸	1-2		[190名]、注1	
	BGS50500	GST205-21J00	グローバル・ヒストリー	2	秋	櫻田 智恵	1-2		[190名]、注1	
	BGS50600	GST206-21J00	グローバル化と宗教	2	春	赤根 雅幸	1-2		[190名]、注1	
	BGS50700	GST207-21J00	グローバル化と情報	2	秋	* 丁 碧恵	1-2		[190名]、注1	
	BGS50800	GST208-21J00	アメリカとグローバル化	2	秋	前嶋 和弘	1-2		[190名]、注1	
	BGS50900	GST209-21J00	平和学	2	休講	都留 康子	1-2		[190名]、注1	
	BGS51100	ECN211-21J00	統計学1	2	春	* 柳田 愛美	1-2			
	BGS51101	ECN212-21J00	統計学2	2	秋	* 柳田 愛美	1-2			
	BGS51200	ANT213-21J00	フィールドワーク論	2	春	福武 慎太郎	1-2		[190名]、注1	
	BGS51210	ANT214-21J00	(隔)環境と人間	2	春	戸田 美佳子	1-2		[190名]、注1	
	BGS59600	GST215-21J00	グローバル化と人の移動	2	春	権 香淑	1-2		[190名]、注1	
	BGS59700	IRS216-21e00	INTERNATIONAL POLITICS: THEORY AND PRACTICE	2	秋	小林 綾子	1-2		○	
	BGS59800	IRS217-21e00	INTERNATIONAL ORGANIZATION: THEORY AND PRACTICE	2	春	小林 綾子	1-2		○	
	333181	POL201-30J00	政治学	4	春	加藤 浩三	2		(他)法学部、注4	
	[国際関係論共通科目群]									
	BGS51300	IRS220-21J00	国際関係論概説	2	春	都留 康子	1-2			
	BGS60700	ICP221-21J00	市民社会論概説A	2	秋	稲葉 奈々子	1-2		旧「市民社会論概説」	
	BGS20006	ICP224-21e00	BASICS OF THEORIES OF CIVIL SOCIETY B	2	秋	WEISS Tobias	1-2		○	
	BGS59900	ICP222-21J00	国際協力論概説A	2	春	田中 雅子	1-2		旧「国際協力論概説」	
	BGS20000	ICP223-21e00	BASICS OF INTERNATIONAL COOPERATION B	2	春	* 大橋 知穂	1-2		○ 集中講義	
	[地域研究共通科目群]									
	BGS60000	ASA230-21J00	東南アジア研究概説A	2	秋	久志本 裕子	1-2		[190名]、注1、 旧「東南アジア研究概説」	
	BGS20001	ASA233-21e00	BASICS OF SOUTHEAST ASIAN STUDIES B	2	春	久志本 裕子	1-2		○	
	BGS51700	ASA231-21J00	南アジア研究概説	2	秋	* 伊東 さゆえ	1-2		[190名]、注1	
	BGS51800	ASA232-21J00	東アジア研究概説	2	秋	渡辺 紫乃	1-2		[190名]、注1	
	BGS51900	AME233-21J00	中東研究概説	2	3Q	辻上 奈美江	1-2		[190名]、注1	
	BGS52000	AAF234-21J00	アフリカ研究概説	2	春	戸田 美佳子	1-2		[190名]、注1、 旧「アフリカ研究概説1」、「アフリカ研究概説2」	

開講科目担当表 [総合グローバル学科]

学科科目 [学部基礎科目 (選択科目)] 200シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
学科科目	選択科目	BGS52100	1DR250-21.j00	自主研究1	2	春	総合グローバル学科教員	2	注3	
		BGS52101	1DR251-21.j00	自主研究2	2	秋	総合グローバル学科教員	2	注3	
		BGS52102	1DR252-21.j00	自主研究3	2	春	総合グローバル学科教員	3	注3	
		BGS52103	1DR253-21.j00	自主研究4	2	秋	総合グローバル学科教員	3	注3	
		BGS52104	1DR254-21.j00	自主研究5	2	春	総合グローバル学科教員	4	注3	
		BGS52105	1DR255-21.j00	自主研究6	2	秋	総合グローバル学科教員	4	注3	
	※留学生専用									
	BGS52106	1DR256-21.j00	自主研究1a	1	1Q	総合グローバル学科教員	2	注3		
	BGS52107	1DR257-21.j00	自主研究1b	1	2Q	総合グローバル学科教員	2	注3		
	BGS52110	1DR258-21.j00	自主研究3a	1	1Q	総合グローバル学科教員	3	注3		
	BGS52111	1DR259-21.j00	自主研究3b	1	2Q	総合グローバル学科教員	3	注3		
	BGS52114	1DR260-21.j00	自主研究5a	1	1Q	総合グローバル学科教員	4	注3		
	BGS52115	1DR261-21.j00	自主研究5b	1	2Q	総合グローバル学科教員	4	注3		

学科科目 [学部専門科目 (選択必修科目)] 300シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考		
学科科目	選択必修科目	[国際政治論科目群]									
		BGS58400	IRS322-21.j00	国際政治学	2	春	渡辺 崇乃	2~4			
		BGS58500	IRS323-21.e00	THEORY OF INTERNATIONAL POLITICS	2	秋	鈴木 一敏	2~4	○		
		BGS58600	IRS324-21.j00	国際政治経済論 (政治学的アプローチ) 1	2	休講	鈴木 一敏	2~4			
		BGS58700	IRS325-21.j00	国際政治経済論 (政治学的アプローチ) 2	2	秋	鈴木 一敏	2~4			
		BGS52500	IRS306-21.j00	国際政治史1	2	春	* 宮城 大蔵	2~4	[190名]、注1		
		BGS52501	IRS307-21.j00	国際政治史2	2	秋	* 宮城 大蔵	2~4			
		BGS52702	IRS309-21.j00	グローバル・ガバナンス論3	2	休講	都留 康子	2~4	旧「国際制度論1」		
		BGS52703	IRS310-21.j00	グローバル・ガバナンス論4	2	秋	都留 康子	2~4	旧「国際制度論2」		
		BGS30000	IRS315-21.j00	比較政治学1	2	春	岸川 毅	2~4	[190名]、注1		
		BGS30001	IRS316-21.j00	比較政治学2	2	秋	岸川 毅	2~4			
		BGS31000	IRS317-21.j00	アメリカ政治外交1	2	休講	前嶋 和弘	2~4			
		BGS31001	IRS318-21.j00	アメリカ政治外交2	2	秋	前嶋 和弘	2~4			
		BGS32000	IRS319-21.j00	アメリカ研究	2	休講	前嶋 和弘	2~4			
		BGS33000	IRS320-21.j00	中国政治外交1	2	春	渡辺 崇乃	2~4			
		BGS33001	IRS321-21.j00	中国政治外交2	2	秋	渡辺 崇乃	2~4			
		BGS20007	IRS332-21.e00	CONFLICT RESOLUTION B	2	秋	* 内田 州	2~4	○		
		BGS59000	IRS327-21.e00	PEACE RESEARCH	2	春	* 波照間 陽	2~4	○ 旧「平和研究」		
		BGS60100	IRS328-21.j00	EUと地域主義	2	春	中内 政貴	2~4	[190名]、注1		
		BGS60200	IRS329-21.j00	EUと紛争解決	2	秋	中内 政貴	2~4	[190名]、注1		
		BGS60900	IRS330-21.j00	国際安全保障論1	2	春	齊藤 孝祐	2~4			
		BGS61000	IRS331-21.j00	国際安全保障論2	2	秋	齊藤 孝祐	2~4			
		BGS61700	IRS333-21.j00	紛争・平和研究	2	秋	小林 綾子	2~4			
		[市民社会・国際協力論科目群]									
		BGS34000	ICP300-21.j00	グローバルゼーションと市民社会1	2	春	WEISS Tobias	2~4			
		BGS34001	ICP301-21.j00	グローバルゼーションと市民社会2	2	秋	WEISS Tobias	2~4			
		BGS35000	ICP302-21.j00	比較社会学	2	春	WEISS Tobias	2~4	[190名]、注1		
		BGS36000	ICP303-21.j00	国際社会学1	2	春	稲葉 奈々子	2~4	[190名]、注1		
		BGS36001	ICP304-21.j00	国際社会学2	2	秋	稲葉 奈々子	2~4			
		BGS61100	ICP322-21.j00	フィールドワークの技法	2	春	稲葉 奈々子	2~4			
		BGS38000	ICP306-21.j00	グローバル化と文化1	2	春	* 小田 マサリ	2~4	[190名]、注1		
		BGS38001	ICP307-21.j00	グローバル化と文化2	2	秋	* 小田 マサリ	2~4	[190名]、注1		
		BGS39000	ICP308-21.j00	国際協力論1	2	春	* 塩畑 真理子	2~4	[190名]、注1		
		BGS39001	ICP309-21.j00	国際協力論2	2	秋	田中 雅子	2~4	[190名]、注1		
		BGS40000	ICP310-21.j00	国際経済学1	2	春	下川 雅嗣	2~4			
		BGS40001	ICP311-21.j00	国際経済学2	2	秋	下川 雅嗣	2~4			
		BGS41002	ICP312-21.j00	国際政治経済論 (経済学的アプローチ) 1	2	春	下川 雅嗣	2~4	旧「国際政治経済論1」		
		BGS41003	ICP313-21.j00	国際政治経済論 (経済学的アプローチ) 2	2	秋	下川 雅嗣	2~4	旧「国際政治経済論2」		
		BGS42000	ICP314-21.j00	開発経済学	4	春	高島 亮	2~4			
		BGS43000	ICP315-21.j00	グローバル化と発展途上国	4	秋	高島 亮	2~4			
		BGS44000	ICP316-21.j00	国際教育開発論1	2	春	丸山 英樹	2~4	[190名]、注1		
		BGS44001	ICP317-21.j00	国際教育開発論2	2	休講	丸山 英樹	2~4	[190名]、注1		
		BGS20002	ICP321-21.e00	EDUCATION FOR MINORITIES IN JAPAN	2	1Q	* 徳永 智子	2~4	○		
		408403	ECN239-41.j00	経済発展論	2	秋	* 池田 昌弘	2~4	(他) 経済学科、注4		
		402110	ECN210-41.e00	CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT	2	春	* 樋口 裕城	2~4	○ (他) 経済学科、注4		
		467412	ECN246-41.j00	特別講義 (開発援助論)	2	3Q	* 小林 智明 * 福田 幸正	2~4	(他) 経済学科、注4		
		284920	SOC212-83.j00	国際移動と人権	2	休講	細木 一十稔 ラルフ	2~4	(他) 社会学科、注4		
		284930	SOC213-83.e00	SOCIOLOGY OF GLOBALIZATION	2	休講	細木 一十稔 ラルフ	2~4	○ (他) 社会学科、注4		
		338001	POL202-30.j00	国際政治学	4	春	岡部 みどり	2~4	(他) 法学部、注4		

開講科目担当表 [総合グローバル学科]

学科学目 [学部専門科目 (選択必修科目)] 300シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
学科学目 選択必修科目	[アジア研究科目群]								
	BGS54500	ASA300-21j00	東南アジア考古学	2	春	丸井 雅子	2~4		[190名]、注1
	BGS62000	ASA329-21e00	PREMODERN HISTORY OF SOUTHEAST ASIA	2	春	* NHIM Sothevvin	2~4	○	
	BGS57900	ASA318-21e00	SOCIETY AND POLITICS IN SOUTH ASIA	2	秋	AUGUSTINE Sali	2~4	○	
	BGS57910	ASA319-21j00	アジアの人権問題	2	休講	AUGUSTINE Sali	2~4		[190名]、注1
	BGS55400	ASA312-21j00	南アジア史	2	春	* 竹中 千春	2~4		[190名]、注1
	BGS55500	ASA313-21j00	南アジア社会経済論	2	春	* 登利谷 正人	2~4		
	BGS56600	ASA314-21j00	アジア文化遺産研究	2	秋	丸井 雅子	2~4		
	BGS57700	ASA315-21j00	アジアの環境と開発	2	春	福武 慎太郎	2~4		[190名]、注1
	BGS58900	ASA316-21j00	NGOと社会運動の人類学	2	秋	福武 慎太郎	2~4		
	BGS59900	ASA317-21j00	アジアとグローバル企業	2	春	* 平賀 富一	2~4		[190名]、注1
	BGS59100	ASA320-21j00	朝鮮半島の社会と文化	2	1Q	権 香淑	2~4		[190名]、注1
	BGS59200	ASA321-21j00	東北アジア社会論	2	休講	権 香淑	2~4		
	BGS59300	ASA322-21j00	東南アジアのイスラームと社会	2	春	久志本 裕子	2~4		
	BGS59400	ASA323-21j00	東南アジアの教育と文化	2	秋	久志本 裕子	2~4		
	BGS59500	ASA324-21e00	ASIAN POLITICS	2	春	* PARK Chris Hyunkyu	2~4	○	旧「アジア政治研究」
	BGS20009	ASA325-21e00	GLOBAL HISTORY AND ASIA	2	春	櫻田 智恵	2~4	○	[190名]、注1
	BGS61500	ASA326-21j00	東南アジア現代政治史	2	春	櫻田 智恵	2~4		
	BGS61600	ASA327-21j00	東南アジア史 (近現代)	2	秋	櫻田 智恵	2~4		
	BGS61900	ASA328-21j00	文化財保存と国際協力	2	春	丸井 雅子	2~4		
	467955	ECN249-41j00	特別講義 (貧困とコミュニティの経済学 I)	2	春	* 中西 徹	2~4		(他) 経済学科、注4
	467956	ECN250-41j00	特別講義 (貧困とコミュニティの経済学 II)	2	秋	* 中西 徹	2~4		(他) 経済学科、注4
	[中東・アフリカ研究科目群]								
	BGS60000	AME300-21j00	中東イスラーム史 (前近代)	2	春	* 松尾 有里子	2~4		
	BGS61200	AME322-21j00	中東近代史A	2	春	山口 昭彦	2~4		
	BGS62600	AME302-21j00	(隔) 中東政治論	2	春	津江 史子	2~4		
	BGS83300	AME318-21e00	CONTEMPORARY SOCIETIES OF THE MIDDLE EAST	2	休講	辻上 奈美江	2~4	○	
	BGS66600	AME306-21j00	民衆イスラーム論	2	秋	赤堀 雅幸	2~4		
	BGS66700	AME307-21j00	イスラームとジェンダー	2	休講	赤堀 雅幸	2~4		[190名]、注1
	BGS66800	AME308-21j00	中東イスラーム思想論	2	秋	* 加藤 瑞絵	2~4		
	BGS66900	AME309-21j00	中東芸術論	2	秋	* 小林 一枝	2~4		[190名]、注1
	BGS70000	AME310-21j00	(隔) トルコ語圏研究	2	休講	津江 史子	2~4		
	BGS20008	AME323-21e00	MODERN HISTORY OF THE MIDDLE EAST B	2	秋	山口 昭彦	2~4	○	
	BGS60300	AME320-21j00	シリア派社会論	2	休講	山口 昭彦	2~4		旧「現代シリア派社会論」
	BGS61300	AME321-21j00	中東ジェンダー論	2	秋	辻上 奈美江	2~4		
	BGS57100	AAF311-21j00	アフリカ史	2	春	眞城 百華	2~4		
	BGS57200	AAF312-21j00	アフリカ政治論	2	秋	眞城 百華	2~4		
	BGS61400	AAF323-21j00	アフリカ国際協力論	2	秋	* 荒木 美奈子	2~4		旧「アフリカ開発論」
	BGS57400	AAF314-21j00	アフリカ社会経済論	2	春	* 一條 洋子	2~4		
	BGS80000	AAF315-21j00	(隔) アフリカ社会論	2	休講	戸田 美佳子	2~4		[190名]、注1
	BGS81000	AAF316-21e00	LIFE AND CULTURE IN AFRICA	2	休講	戸田 美佳子	2~4	○	
	BGS82900	AAF317-21j00	アフリカ・ジェンダー論	2	秋	眞城 百華	2~4		[190名]、注1
	BGS60600	AAF322-21j00	現代アフリカ研究	2	春	* 池邊 智基	2~4		
	690146	AEU351-50j00	ポルトガル語圏アフリカ史	2	春	矢澤 達宏	2~4		(他) 外国語学部、注4
	549414	ARS301-50m00	フランス語圏アフリカの社会と経済	2	春	岩崎 あり奈	2~4		(他) 外国語学部、注4
	579479	ARE203-50m00	中央アジア地域研究入門	2	秋	* 李 俊大	2~4		(他) 外国語学部、注4

学科学目 [学部応用科目 (選択必修科目)] 400シリーズ

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
学科学目 選択必修科目	[国際政治論科目群]								
	BGS57521	IRS408-21j00	特講 (朝鮮半島をめぐる国際関係)	2	秋	* 堀田 幸裕	3・4		
	BGS57514	IRS404-21j00	特講 (現代日本政治)	2	春	* 高安 健将	3・4		
	BGS57516	IRS406-21e00	ADVANCED STUDIES (INTERNATIONAL HUMAN RIGHTS)	2	春	小林 綾子	3・4	○	
	BGS25000	IRS407-21e00	ADVANCED STUDIES (DEMOCRACY AND CONFLICT)	2	休講	中内 政尚	3・4	○	
	[市民社会・国際協力論科目群]								
	BGS62001	ICP403-21e00	ADVANCED STUDIES (SUSTAINABILITY EDUCATION)	2	春	丸山 英樹	3・4	○	
	[アジア研究科目群]								
	BGS57508	ASA402-21e00	ADVANCED STUDIES (CULTURES AND SOCIETIES OF ASIA)	2	春	* 米野 みちよ	3・4	○	
	BGS57510	ASA403-21j00	特講 (通地域研究)	2	秋	岸川 毅	3・4		
	BGS57517	ASA404-21e00	ADVANCED STUDIES (GLOBAL MIGRATION AND KOREANS IN JAPAN)	2	休講	権 香淑	3・4	○	
	[中東・アフリカ研究科目群]								
	BGS57512	AAF401-21j00	特講 (アフリカの社会と文化)	2	休講	戸田 美佳子	3・4		
	BGS57519	AAF403-21j00	特講 (アフリカの家族と親族)	2	秋	* 権野 若菜	3・4		

開講科目担当表 [総合グローバル学科]

学科学目〔学部応用科目(選択必修科目)〕演習・400シリーズ

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
学科学目 選択必修科目	〔国際政治論科目群演習〕								
	BGS57658	IRS468-21.j00	(重) 演習 (国際政治経済論・政治学的アプローチ) 1	2	休講	鈴木 一敏	3・4		注2
	BGS57659	IRS469-21.j00	(重) 演習 (国際政治経済論・政治学的アプローチ) 2	2	秋	鈴木 一敏	3・4		注2
	BGS57656	IRS458-21.j00	(重) 演習 (グローバル・ガバナンス論) 1	2	春	都留 康子	3・4		注2、 旧「演習 (国際制度論) 1」
	BGS57657	IRS459-21.j00	(重) 演習 (グローバル・ガバナンス論) 2	2	秋	都留 康子	3・4		注2、 旧「演習 (国際制度論) 2」
	BGS57610	IRS460-21.j00	(重) 演習 (比較政治学) 1	2	春	岸川 巖	3・4		注2
	BGS57611	IRS461-21.j00	(重) 演習 (比較政治学) 2	2	秋	岸川 巖	3・4		注2
	BGS57614	IRS464-21.j00	(重) 演習 (アメリカ政治外交) 1	2	休講	前嶋 和弘	3・4		注2
	BGS57615	IRS465-21.j00	(重) 演習 (アメリカ政治外交) 2	2	秋	前嶋 和弘	3・4		注2
	BGS57616	IRS466-21.j00	(重) 演習 (中国政治外交) 1	2	春	渡辺 崇乃	3・4		注2
	BGS57617	IRS467-21.j00	(重) 演習 (中国政治外交) 2	2	秋	渡辺 崇乃	3・4		注2
	BGS57660	IRS470-21.j00	(重) 演習 (EUと紛争解決) 1	2	春	中内 政貴	3・4		注2
	BGS57661	IRS471-21.j00	(重) 演習 (EUと紛争解決) 2	2	秋	中内 政貴	3・4		注2
	BGS57662	IRS474-21.j00	(重) 演習 (国際安全保障論) 1	2	春	齊藤 季祐	3・4		注2
	BGS57663	IRS475-21.j00	(重) 演習 (国際安全保障論) 2	2	秋	齊藤 季祐	3・4		注2
	〔市民社会・国際協力論科目群演習〕								
	BGS57654	ICP450-21.j00	(重) 演習 (国際政治経済論・経済学的アプローチ) 1	2	春	下川 雅嗣	3・4		注2、 旧「演習 (国際政治経済
	BGS57655	ICP451-21.j00	(重) 演習 (国際政治経済論・経済学的アプローチ) 2	2	秋	下川 雅嗣	3・4		注2、 旧「演習 (国際政治経済
	BGS57620	ICP452-21.j00	(重) 演習 (開発経済学) 1	2	春	高島 亮	3・4		注2
	BGS57621	ICP453-21.j00	(重) 演習 (開発経済学) 2	2	秋	高島 亮	3・4		注2
	BGS57622	ICP454-21.j00	(重) 演習 (国際社会学) 1	2	春	稲葉 奈々子	3・4		注2
	BGS57623	ICP455-21.j00	(重) 演習 (国際社会学) 2	2	秋	稲葉 奈々子	3・4		注2
	BGS57624	ICP456-21.j00	(重) 演習 (グローバル市民社会論) 1	2	春	WEISS Tobias	3・4		注2
	BGS57625	ICP457-21.j00	(重) 演習 (グローバル市民社会論) 2	2	秋	WEISS Tobias	3・4		注2
	BGS57626	ICP458-21.j00	(重) 演習 (国際協力論) 1	2	春	田中 雅子	3・4		注2
	BGS57627	ICP459-21.j00	(重) 演習 (国際協力論) 2	2	秋	田中 雅子	3・4		注2
	BGS57628	ICP460-21.j00	(重) 演習 (国際教育開発論) 1	2	春	丸山 英樹	3・4		注2
	BGS57629	ICP461-21.j00	(重) 演習 (国際教育開発論) 2	2	休講	丸山 英樹	3・4		注2
〔アジア研究科目群演習〕									
BGS57630	ASA450-21.j00	(重) 演習 (アジア研究A) 1	2	春	丸井 雅子	3・4		注2	
BGS57631	ASA451-21.j00	(重) 演習 (アジア研究A) 2	2	秋	丸井 雅子	3・4		注2	
BGS57632	ASA452-21.j00	(重) 演習 (アジア研究B) 1	2	春	福武 慎太郎	3・4		注2	
BGS57633	ASA453-21.j00	(重) 演習 (アジア研究B) 2	2	秋	福武 慎太郎	3・4		注2	
BGS57634	ASA454-21.j00	(重) 演習 (アジア研究C) 1	2	春	櫻田 智恵	3・4		注2	
BGS57635	ASA455-21.j00	(重) 演習 (アジア研究C) 2	2	秋	櫻田 智恵	3・4		注2	
BGS57636	ASA456-21.j00	(重) 演習 (アジア研究D) 1	2	春	久志本 裕子	3・4		注2	
BGS57637	ASA457-21.j00	(重) 演習 (アジア研究D) 2	2	秋	久志本 裕子	3・4		注2	
BGS57638	ASA458-21.j00	(重) 演習 (アジア研究E) 1	2	春	権 香叔	3・4		注2	
BGS57639	ASA459-21.j00	(重) 演習 (アジア研究E) 2	2	休講	権 香叔	3・4		注2	
〔中東・アフリカ研究科目群演習〕									
BGS57642	AME450-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究A) 1	2	休講	辻上 奈美江	3・4		注2	
BGS57643	AME451-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究A) 2	2	秋	辻上 奈美江	3・4		注2	
BGS57644	AME452-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究B) 1	2	春	赤堀 雅幸	3・4		注2	
BGS57645	AME453-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究B) 2	2	秋	赤堀 雅幸	3・4		注2	
BGS57646	AME454-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究C) 1	2	春	山口 昭彦	3・4		注2	
BGS57647	AME455-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究C) 2	2	秋	山口 昭彦	3・4		注2	
BGS57648	AME456-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究D) 1	2	春	澤江 史子	3・4		注2	
BGS57649	AME457-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究D) 2	2	秋	澤江 史子	3・4		注2	
BGS57650	AAF458-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究E) 1	2	春	眞城 百華	3・4		注2	
BGS57651	AAF459-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究E) 2	2	秋	眞城 百華	3・4		注2	
BGS57652	AAF460-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究F) 1	2	春	戸田 美佳子	3・4		注2	
BGS57653	AAF461-21.j00	(重) 演習 (中東・アフリカ研究F) 2	2	休講	戸田 美佳子	3・4		注2	

開講科目担当表 [総合グローバル学科]

学科科目〔学部応用科目(選択必修科目)〕400シリーズ

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
学科科目 選択必修科目	【論文・研究】 【2018年次生以前用】 ※「卒業論文・卒業研究1」の単位取得後、「卒業論文・卒業研究2」を履修すること。								
	BGS90300	GRP400-21j00	卒業論文・卒業研究1	3	春	演習担当教員	4		
	BGS90300	GRP400-21j00	卒業論文・卒業研究1	3	秋	演習担当教員	4		
	BGS90301	GRP402-21j00	卒業論文・卒業研究2	3	春	演習担当教員	4		
	BGS90301	GRP402-21j00	卒業論文・卒業研究2	3	秋	演習担当教員	4		
	BGS90100	GRP404-21j00	専門論文・専門研究1	1	春	演習担当教員	4		
	BGS90100	GRP404-21j00	専門論文・専門研究1	1	秋	演習担当教員	4		
	BGS90101	GRP406-21j00	専門論文・専門研究2	1	春	演習担当教員	4		
	BGS90101	GRP406-21j00	専門論文・専門研究2	1	秋	演習担当教員	4		

学科科目〔学部応用科目(必修科目)〕400シリーズ

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
学科科目 必修科目	【2019年次生以降用】 ※「卒業論文・卒業研究1」の単位取得後、「卒業論文・卒業研究2」を履修すること。								
	BGS99100	GRP408-21j00	卒業論文・卒業研究1	2	春	演習担当教員	4		
	BGS99100	GRP408-21j00	卒業論文・卒業研究1	2	秋	演習担当教員	4		
	BGS99200	GRP409-21j00	卒業論文・卒業研究2	2	春	演習担当教員	4		
	BGS99200	GRP409-21j00	卒業論文・卒業研究2	2	秋	演習担当教員	4		

注1: 備考欄で定員数を [] で囲んだ科目は総合グローバル学部生・外国語学部生優先の抽選科目である。
 詳細については、履修要覧(ガイド・資料編)一11、教務一5-1、学部における履修登録を参照すること。
 注2: (直) は重複履修可能科目である。演習科目は同一科目を複数回履修しても卒業に必要な単位として認める。
 注3: 「自主研究1~6」担当教員は以下のとおり。
 自主研究1・1a・1b・3・3a・3b・5・5a・5b 総合グローバル学科教員(鈴木、辻上、前嶋を除く)
 自主研究2・4・6 総合グローバル学科教員(権、戸田、丸山を除く)
 注4: (他) は他学部他学科開講科目である。当該年度の開講状況、履修条件等については、開講学部・学科の履修要覧およびシラバスで確認すること。